

2017年8月29日

当院で非小細胞がんに対してザーコリ、アレセンサで
治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名： ALK 陽性肺癌に関するレトロスペクティブ研究 (WJOG9516L)

◆研究の目的と概要◆

本研究は、ALK 遺伝子転座陽性非小細胞肺癌患者さんの、実臨床におけるザーコリ・アレセンサの投与状況、経過、薬剤の有効性・安全性を検討することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2012年5月から、2016年12月までの間に、病理診断で非小細胞肺癌と診断され、ALK 遺伝子転座陽性と診断され、ザーコリ、アレセンサによる治療歴がある患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、全身状態、既往歴、合併症、組織型、喫煙歴、各種画像・血液・病理等検査結果、手術歴、放射線治療歴、薬物療法歴、有害事象、生存情報

◆研究方法◆

上記情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して報告書の郵送で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

西日本がん研究機構(WJOG)：研究代表者 和歌山県立医科大学 山本信之医師が主体となって実施しており、全国のWJOG施設が参加しています。

主体のホームページ <http://www.wjog.jp/>

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 横山 俊秀

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明